

教友の真実寄せ合い地域へ



一ごども食堂に支援集まる

緊急事態宣言の中で

新型コロナウイルスの感染拡大で教内の活動にも大きな影響が出るなか、大教会では5月17日「ほんあいごども食堂MOGU」を実施。支援物資を地域住民に配布した。実施にあたっては、部内教会をはじめ、社会福祉協議会や民間団体からもさまざまな形で支援が集まった。

本愛大教会ごども食堂運営委員会では、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、通常の形式での実施は困難と判断し、3月の開催を中止。情勢を見極めつつ、地域貢献の方法を検討してきた。厚生労働省は全国のごども食堂運営団

活動目標

喜びの旬
おたすけの日々
楽しみの道

体に対し、臨時休校期間中、ごども食堂は一人親世帯などへの重要な支援であるとして、安全に留意したうえで開催できるよう各都道府県へ対応を調達。関係団体が対応策を模索してきた。

民間の団体からも

こうした中、同委員会では4月17日の開催について、支援物資を配布する形で実施することを決め、協力を呼びかけたところ、大教会につながる部内教会3カ所からマスクやレトルト食品、自宅で遊べる紙工作グッズなどの支援物品が集まった。

また「あいち子ども食堂ネットワーク」を通じて日立グループ各社から成る慈



善団体「親切会」からも経済支援の申し出があった。同日は、手指の消毒やマスクの着用などに留意したうえで、道友社が販売する「天理カレ」も配布。集まった子供たちに、スタツフが一つずつ手渡した。

5月の開催にあたっては、名古屋市内の飲食店から、県内の農家で供給過剰となった野菜を使った弁当の提供の申し出があったほか、4月に引き続き部内教会計5カ所から、さらに中村区社会福祉協議会からも食品などの寄付があった。17日、すべての支援物品は、教友の誠実とともに、地域住民に配られた(写真右)。両日で配布した数は延べ73人分に上った。

6月のこよみ

入社祭	1日 午前10時
教会長連絡会中止	よふき会例会
よふき会例会	2日 午前10時
月次祭	13日 午前10時
布教実修所	14日 午前9時30分
むつみ会例会	16日 午前10時
婦人会例会	20日 午前10時
本部月次祭	26日 午前9時

縦の伝道講習会の中止について

新型コロナウイルスの感染拡大防止などに鑑み、6月13日に予定しておりました「縦の伝道講習会」は中止と致します。何卒ご理解を頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

少年会本愛団

座談会

この大節をどう悟れば

新型コロナウイルス感染拡大を受け

(前号からの続き)

司会(石井富男・広報部長)

今回の大節から、私たちは何を悟らせていただくべきなのでしょう。

心の土台つくるとき

安藤正二郎氏 「人との接触を極力減らしましょう」と呼びかけられていますよね。つまり、いまは人とつながることができない。これを教理的に考えれば、さづちのみことのお働きが十分に頂けていない状況と言えるのではないのでしょうか。そのことから、私は十全の守護で、さづちのみこと

の正反対の方角である月よみのみことのご守護を思案しました。

月よみのみことは「万つつぱり」のお働きです。普段より家にいる時間が長

ます。

安藤吉人氏 ある先人の先生は、死に直面した経験を

持つ人のほうが「おたすけがあがる」と話しておられました。ですが、現代に生きる私たちの中でそんな経験を人は稀です。けれどもこのコロナウイルスは、ある日突然感染してそのまま亡くなることもあ

る。私たちはある意味で「常に死に直面している」ことをあらためて痛感させられました。「生かされている」ことをあらためて感じられたいようにも思います。

理を捨てる準備期間

正二郎 いずれワクチンが開発されれば、事態は収束していくでしょう。そうすれば、またおつとめも勤められるし、行事も開催でき

る。そのとき、私たちの心がコロナ禍の前と同じではないかと思うんです。私



ことは、一人ひとりへの話の取り次ぎ方です。私たちはこれまで「話して伝える」ということを疎かにしていたのかもしれない。そのことを考える時間、伝える練習をする時間を与えていただいているのではないかなとも思いますね。

板山 教えを究めていこうと努力する中にこそ真実があり、それを神様は受け取ってくださいとのだと、私は思います。不思議な守護がなくなると言われま

い、ということなのかもしれません。

正二郎 おさしづに「ほんの言葉だけで言うた分には分かん。言葉はその場だけのも。言葉の理を捨ててこそ、八方である」(明治37年11月2日)とあります。言葉はすぐに忘れてしまふものです。だからこそ、言葉だけで人を納得させる

のではなくて、バックボーンとなる「言葉の理」が必要なんです。自分の苦手なことをしたり、一歩でもひながたに近づこうと努力すること、理ができてくる。そうして初めて、相手の心を変えることができる。今はその「理を捨てる」ための準備期間だと思います。

吉人 今は現実に向き合いながら教えの本質を求められる貴重な機会かもしれません。「アフターコロナ」の時代をどう生き抜いていくのか、引き続き考えていきたいと思えます。

教理随想

言わん言えんの理を探る



家の中に座つて周囲を見回してみると、壁、天井、床、畳など様々な物が目に入つてきます。このような表に現れる部分と、視界には入らないけれども裏側で支える部分とであらゆる建造物はできています。もし表側だけだとすれば、それはちょうど映画村などにあるロケのセツトのようなもので、住むことができないばかりか、ちよつとした雨や風ですぐに倒れてしまうことは明らかです。

多くの場面においてもいえます。仕事や生活が今順調ならば、それは自分の努力もありますが、周囲や蔭で協力してくれたり支えてくれる人がいるからでしょう。また家族が健康で大きな悩みもなく過ごせるならば、それは先祖や両親が、自分の知らない所で魂に徳を積んでくれたおかげであります。こうした目には見えな

い裏面の世界、あるいは陸の世界を意識して、そこに感謝の心を持つことが、現在の幸せな状態を続けていくために最も必要な要因であります。お道の信仰もこれと同じことがいえませう。おつとめ、ひのきしん、つくし・はこびなど、目に見える信仰の「形」と、目には見えない

信仰の「心」。この両者で私たちは信仰生活を送っています。もちろんどちらも大切ですが、強いて順序をつけるならば、自らの心のあり方を深め、目に見えない部分を養うことが最も大切ではないでしょうか。信仰の心を深めるとは、言い換えれば親神様の思いをもつと深く求める努力です。これは知識や理屈で考えるのではなく、ここで必要となつてくるのが「感性」です。

一つの例をあげると、昭和五十九年十月、おちばで東西礼拝場が竣工して、同時にかんろだいの据え替えの儀が行われた時、三代真柱様は神殿講話で次のようにお諭しく下さいました。

「これまでのかんろだいの曇りは、物理的には雨や埃でできたに違いないが、信仰的には私たち子供の心のほこりを親神様が吸い上げて下さった姿だと悟らせて頂けば、これこそが実の親であり、ただありがたい限りである」。(真柱訓話集)

このように悟る心、これがまさに信仰の感性であります。目に見える世界を、ただ物理的な現象としてとらえるだけでなく、そこに親神様の深い親心と思惑を悟る努力、すなわち感性を磨く訓練に力を込めなければならぬのであります。

信仰の心を深めるためにも一つ欠かせない努力があります。それは我が家が天理教の信仰を始めたきっかけと、そこに頂戴したご守護を思い起こすことです。それこそ単に知識としてだけでなく、今の自分をその当時の状況に当てはめて想像してみる。身上や事情に苦しむ時の気持ちはどうだっただろうか。その中で信仰を続けたのは何故なのか。我が家の信仰の元一日を決して過去の出来事に終わらせず、何度も思い返して今の状況の中に喜びを見出すことが、「いんねんの自覚」であります。そしてそれを必ず次代を担う我が子や孫に伝えましょう。これが本当の「縦の伝道」であります。

世の中が豊かになり、便利さが加速度的に増していくことは、実に喜ばしい進歩ですが、うっかりすると時代の潮流に心が流されてしまいます。これでは感性は鈍り、目に見えない世界は心に映りません。そうならないように、まず自身身が親神様に蔭から支えて頂いている事実を焦点を当て、そこから湧き上がる感謝と喜びを台として、言葉と態度で信仰の喜びを次代へ伝えていきましょ。

【第 66 回】

心の感性を研ぎ澄まして
神意を悟り次代へ伝える

本海部分教会では3月29日午前11時より、初代会長・服部ツルエ之霊の十年祭、二代会長・服部鐘男之霊の三十年祭、並びに三代会長・安井鐵郎之霊の一年祭が、世話人・大倉八郎役員を祭主として同分教会で行われた。

本海部分教会初代会長
服部ツルエ之霊の十年祭
同分教会二代会長
服部鐘男之霊の三十年祭
同分教会三代会長
安井鐵郎之霊の一年祭

4月のおさづけの理拝戴者
本喜愛 松浦 元
本金山 梅田 聡士
以上2名

4月の初席者
名愛 辻 基介
以上1名



本愛大教会 公式ホームページ開設!

大教会からのお知らせ
沿革、大教会へのアクセス
本愛誌バックナンバーのダウンロード

<https://hon-ai.org>

陽気ぐらしのキーワード



感謝 慎み たすけあい



大 教 会 日 誌

令和2年4月25日～令和2年5月24日

4月

26日 本部月次祭

29日 全教一斉ひのきしんデー

30日 常任役員会議◇役員会議

5月

1日 入社祭

祭主・大教会長 扨者・佐藤正成、吉田克義
指図方・出口道男 賛者・長尾 誠、久保眞樹

2日 よふき会例会

12日 常任役員会議

13日 月次祭

祭主・大教会長 扨者・出口順英、中島功雄
指図方・出口道男 賛者・伊藤寿輝、野田正樹

◇大教会長挨拶

14日 おはなし会

Youtube で配信

17日 こども食堂MOGU (配布35人)